



幼児期の自然体験は豊かな心や人間性を育む！

保護者が語る自然体験の魅力と成果

～ リックファミリーキャンプに参加した保護者へのヒアリング調査～



National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構



本調査に関するお問い合わせ先

青少年教育研究センター（担当）青木
東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL：03-6407-7741
FAX：03-6407-7689
E-mail：kenkyu-soumu@niye.go.jp

幼児・小学生の保護者に聞きました！

なぜ自分の子供に自然体験をさせるのか？

- ✓ 国立青少年教育振興機構では、幼児期に行う自然体験の意義やその成果（豊かな心や人間性の育成、体力・免疫力の向上等）について調査研究を行い、今後のプログラム開発や指導者育成に役立てたいと考えています。
- ✓ 今回は、第一弾として、国立花山青少年自然の家で行われた「リックファミリーキャンプ」に参加した保護者を対象に、「なぜ自分の子供に自然体験をさせるのか？」をテーマに、保護者が感じる自然体験の魅力と成果についてお聞きしました。

〔調査概要〕

調査日時 平成29年8月27日(日)清掃及び朝食時
調査場所 国立花山青少年自然の家
調査対象 リックファミリーキャンプに参加の保護者4名
調査方法 ヒアリング調査



保護者が語る自然体験の魅力

自然体験をさせようと思ったきっかけ

- ✓ 子供を思いっきり遊ばせる場所が少ない！
- ✓ 自分がした体験を子供にもさせたい！
- ✓ 家ではできないような体験をさせたい！

自然体験の魅力

- ✓ 自然の中だったら、思い切り靴を濡らしてもいいと思えるし、泥の中に入れていっても気にならない！
- ✓ 普段ないものがいっぱいあって、普段と違ったことがたくさん体験できる！
- ✓ 自分の体験から学ばせることができる！

保護者が語る自然体験の成果

自然体験で成長したと感ずること

- ✓ 慣れてくるとおもしろがってまたやってみたり、それ以上のことをやろうとする！ → **挑戦心・意欲の向上**
- ✓ 怖くてなかなか飛び込めなかったが、やっとの思いで飛び込むことができた！ → **自信・自己肯定感の向上**

施設で自然体験を行う意義

- ✓ 周りの目が気にして、自分も何かしないと責任感を感じたり、自分からやろうと積極的に動いている姿がよくみられるようになった！ → **自主性・積極性の向上**
- ✓ 親ではない誰かを頼るようになったり、友達と相談するようになった！ → **自立心・協調性の向上**

ヒアリング調査のまとめ



幼児期の自然体験は 豊かな心や人間性を育む！

幼児の保護者は、普段の生活では味わえない体験を我が子にさせたいと思っています。

また、実際に我が子が自然の中で遊ぶ姿をみて、自然体験の魅力や子供の豊かな心、人間性を育む可能性を感じていることがうかがえました。

調査結果①

? お子さんに自然体験をさせようと思った きっかけは何ですか？

- ✓ 自分が子供の頃は思いっきり遊べる場所が多かったが、最近では公園でもボールを蹴ってはダメとか、大きな声を出すなどいわれ、子供を思いっきり遊ばせる場所が少なくなってきたから。【幼児・父親】
- ✓ 夫婦ともに子供の頃から親に連れられていろいろな自然体験をしてきたので、自分の子供にもこうした体験をさせてあげたいと思ったから。【幼児・母親】
- ✓ 昨年初めてこの事業に参加し、普段の生活を離れ、山に行ったり、家ではできないような体験ができることがすごく魅力的に感じたので。【小5・父親】

? どういったところに自然体験の魅力を感じますか？

- ✓ 普段だったら靴を濡らしてはダメだと思うのに、自然の中だったら、思い切り靴を濡らしてもいいと思えるし、泥の中に入れていっても気にならないし、こういうことをもっとさせてあげたいと思える。【幼児・母親】
- ✓ 虫がいっぱいいて、きれいな風景があって、土の感触が感じられる。こういうところに来ると、普段ないものがいっぱいあって、穴に引っかかってつまづいたり、坂道で転がったり、普段と違ったことがたくさん体験できる。【小5・父親】
- ✓ 川は危ないと子供にいても、実際に入ってみないとわからないこともある。実際に川に入ってみて、深くて流されそうだという体験をすれば、自分の体験から川には怖いところもあるということを学ばせることができる。【幼児・父親】

? 自然の中で遊んでいる子供の姿をみて、成長したと感じることはありますか？

- ✓ 最初はやったことがないことも多いので何でも警戒して恐る恐るやっているのが、段々慣れてくるとおもしろがってまたやってみたり、それ以上のことをやろうとするようになるところがある。【小5・母親】
- ✓ 以前は、木にさわっただけでかゆくなる気がする、虫などもかゆくなるから嫌だと言っていたのが、ナイトハイキングやハイキング、沢登りをしているうちにだんだん何も言わなくなり、気にならなくなってきた。【幼児・母親】





自然の中で遊んでいる子供の姿をみて、成長したと感じることはありますか？

- ✓ 滝つぼに飛び込むプログラムの際、娘は本当に怖くてなかなか飛び込めなかったが、ボランティアや周りの人たちの応援で勇気がもらえ、やっとの思いで飛び込むことができた。その時の経験が大きな自信につながったように感じている。【幼児・母親】



参加者(小2)が描いた絵

「本当は怖かったけど、みんなが応援してくれたから私は飛べた」と言って、“飛んでいる自分”と“応援してくれているボランティア”の姿を絵に描き、施設に持ってきてくれました。



家族で行う自然体験と施設で行う自然体験にはどのような違いがありますか？

- ✓ 家族以外の人たちとかかわる機会になっているところ。特に、大学生のお兄さん、お姉さんが子供たちにとってあこがれの存在になっており、彼らに褒めてもらいたいので一生懸命いろんなことに取り組んでいるように思う。【幼児・母親】
- ✓ 家族だけだと親に甘えて自分で何もしようとしないが、スタッフの方や他の家族がいると、周りの目が気になるのか、自分も何かしないと責任感を感じたり、自分からやろうと積極的に動いている姿がよくみられるようになった。【小5・母親】
- ✓ 家で布団のたたみ方を教えてもちゃんとできなかったが、ここで布団のたたみ方を教えてもらってからは、家に帰ってもちゃんと布団をたためるようになった。【幼児・父親】

? 家族で行う自然体験と施設で行う 自然体験にはどのような違いがありますか？

- ✓ 普段、家ではあいさつする機会が少ないが、こういった場所では色々な人に会うので、自分からあいさつするようになった。【幼児・母親】

保護者に聞いたエピソード

初めてリックに参加した時、職員の方から「お友達を1人つけて帰りましょう」と説明があったので、娘もそれを意識していたのですが、その時はうまくお友達ができませんでした。2回目に参加する時、娘は前日から「友達つくれるかな」と心配そうにしていたので、「頑張って、自分から声かけてみたらどう？」と言ったところ、「相部屋になったら友達ができるかな」「最初に挨拶したほうがいいかな」などいろいろ自分で言っていました。結局、何度か会を重ね、自分から挨拶したり話しかけているうちに、自然とお友達ができるようになったようです。

? 家族で行う自然体験と施設で行う 自然体験にはどのような違いがありますか？

- ✓ 困ったことがあれば、自分たちで考えたり、ボランティアや職員の方に頼るなど、親ではない誰かを頼るようになったり、友達と相談するようになった。【幼児・母親】
- ✓ 家ではテレビやゲームばかりなので、そういうものがない生活を送れるところ。【小5・父親】
- ✓ 沢登りなど、家族だけではなかなかできない自然体験ができるところ。【幼児・母親】



? お子さんのしつけで心がけていることはどのようなことですか？

- ✓ 挨拶をすること。知っている人にはすぐ挨拶できるが、知らない人がいる場だと、言われれば返すが、自分から率先して挨拶をしないので、ちゃんと自分から挨拶をするように促している。【小5・母親】
- ✓ 何かあっても、親がすぐに手を差し伸べ、立たせてあげるよりは、声をかけ、子供が自分の力で起き上がってくるのを待つようにしている。【幼児・父親】
- ✓ 頭ごなしに怒らないようにしないといけないと思っている。【幼児・母親】

? 育児について不安なことや心配なことはありますか？

- ✓ 自分は怒っていることが多いので、それが子供たちによくないのだろうといつも思っている。でも、穏やかに過ごすためには、どうすればいいのかわからないのでいつも悩んでしまう。【幼児・母親】
- ✓ 自分たちの目の届くところはいいが、学校でいじめの問題とかもあるので、学校から帰ってきた時には子供の様子をチェックするようにしている。何かあっても言わないこともあるので、気をつけるようにしている。【小5・母親】
- ✓ 公園でちゃんと遊べないことが心配。公園で子供が集まって遊んでいても、よく見たらみんなでゲームをしてることが多く、昔みたいに思いっきり遊べるところがない。【幼児・父親】